

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の変更許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 { 第16条第1項 } の規定により、 許可を申請します。 申請日 福岡市長 殿 申請者 氏名		※手数料欄		
1	工事主住所氏名	住所1		
		氏名1		
		住所2		
	(法人役員住所氏名)	住所3		
		氏名3		
		(住所)	
	(氏名)		
2	設計者住所氏名	住所		
		氏名		
3	工事施行者住所氏名	住所		
		氏名		
4	土地の所在地及び地番			
	(代表地点の緯度経度)	(緯度 33 度 分 秒)	(経度 130 度 分 秒)	
5	土地の面積	平方メートル		
		平方メートル		
6	工事着手前の土地利用状況	()		
7	工事完了後の土地利用	()		
8	盛土のタイプ	平地盛土		
		腹付け盛土		
		谷埋め盛土		
		切土		
9	土地の地形	溪流への該当	有 無	
10 工事の概要	イ 盛土又は切土の高さ	盛土による崖	メートル	
		切土による崖	メートル	
		盛土及び切土による崖	メートル	
		崖のない盛土	メートル	
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積			平方メートル
		(うち30cm超の面積)	平方メートル	
ハ 盛土又は切土の土量	盛土	立法メートル		
	切土	立法メートル		

ニ 擁壁	番号	構造	高さ	延長	
	1		メートル	メートル	
	2		メートル	メートル	
	3		メートル	メートル	
	4		メートル	メートル	
	5		メートル	メートル	
	6		メートル	メートル	
	7		メートル	メートル	
	8		メートル	メートル	
ホ 崖面崩壊防止施設	番号	構造	高さ	延長	
	1		メートル	メートル	
	2		メートル	メートル	
	3		メートル	メートル	
	4		メートル	メートル	
	5		メートル	メートル	
ヘ 排水施設	番号	構造	内法寸法	延長	
	1		センチ メートル	メートル	
	2		センチ メートル	メートル	
	3		センチ メートル	メートル	
	4		センチ メートル	メートル	
	5		センチ メートル	メートル	
ト 崖面の保護の方法					
チ 崖面以外の地表面の保護の方法					
リ 工事中の危害防止のための措置					
ヌ その他の措置					
ル 工事着手予定年月日					
ロ 工事完了予定年月日					
ワ 工程の概要			別紙「工程表」のとおり		
11	その他必要な事項				
12	変更の理由				
13	許可番号		第 号		
※受付欄		※決裁欄		※許可に当たって付した条件	※許可番号欄
年 月 日					年 月 日
第 R 号					第 R 号
係員氏名					係員氏名

[注意]

- ※印のある欄は記入しないでください。
- 申請者、1 欄の工事主、2 欄の設計者又は 3 欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 1 欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。
- 2 欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。
- 3 欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。
- 4 欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- 8 欄は、該当する盛土タイプに○印を付してください（複数選択可）。
- 9 欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。
- 11 欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続きの状況を記入してください。
- 10 欄に収まらない場合は別紙（任意様式）に記載してください。

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の変更許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 { <input type="radio"/> 第16条第1項 } の規定により、 許可を申請します。 申請日 令和8年3月25日 福岡市長 殿 申請者 氏名 株式会社 ●●開発 代表取締役 開発 一郎		※手数料欄		
1	工事主住所氏名	住所1	福岡市中央区開発町一丁目●番●号	
		氏名1	株式会社 ●●開発 代表取締役 開発 一郎	
		住所2		
		氏名2		
		住所3		
		氏名3		
(法人役員住所氏名)		(住所)	福岡市城南区法人町五丁目●番●号)	
		(氏名)	代表取締役 開発 一郎)	
2	設計者住所氏名	住所	福岡市東区設計町一丁目●番●号	
		氏名	株式会社 ●●設計 代表取締役 設計 花子 <input type="radio"/>	
3	工事施行者住所氏名	住所	福岡市西区施行町●丁目●番●号	
		氏名	株式会社 ●●建設 代表取締役 工事 太郎	
4	土地の所在地及び地番	福岡市中央区天神●丁目000番1から2及び5		
		(代表地点の緯度経度)	(緯度 33 度 35 分 24.5 秒)	
		(経度 130 度 24 分 6.2 秒)		
5	土地の面積	5,000.00		平方メートル
		(1工区) 2,300.00、(2工区) 2,700.00		平方メートル
6	工事着手前の土地利用状況	農地	(更地)	
7	工事完了後の土地利用	宅地	(店舗兼共同住宅1棟)	
8	盛土のタイプ	<input type="radio"/> 平地盛土		
		腹付け盛土		
		<input type="radio"/> 谷埋め盛土		
		切土		
9	土地の地形	溪流への該当	有 <input type="radio"/> 無	
10	イ 盛土又は切土の高さ	盛土による崖	3.50	メートル
		切土による崖	2.56	メートル
		盛土及び切土による崖	4.26	メートル
		崖のない盛土		メートル
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積		3,500.00	平方メートル
		(うち30cm超の面積)	3,000.00	平方メートル
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	1,500.00	立法メートル
		切土	2,800.00	立法メートル

ニ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
	1	RC造 L型擁壁	1.50 <small>メートル</small>	5.00 <small>メートル</small>
	2	コンクリート造 重力式擁壁	2.00 <small>メートル</small>	5.50 <small>メートル</small>
	3	コンクリートブロック練積み擁壁	2.50 <small>メートル</small>	6.00 <small>メートル</small>
	4	間知石練積み擁壁	3.00 <small>メートル</small>	6.50 <small>メートル</small>
	5	大臣認定擁壁	3.50 <small>メートル</small>	7.00 <small>メートル</small>
	6		<small>メートル</small>	<small>メートル</small>
	7		<small>メートル</small>	<small>メートル</small>
	8		<small>メートル</small>	<small>メートル</small>
ホ 崖面崩壊防止施設	番号	構造	高さ	延長
	1	蛇籠	1.50 <small>メートル</small>	4.00 <small>メートル</small>
	2	鉄製枠工	2.00 <small>メートル</small>	4.50 <small>メートル</small>
	3	大型籠工	2.50 <small>メートル</small>	5.00 <small>メートル</small>
	4	ジオテキスタイル補強土壁工	3.00 <small>メートル</small>	5.50 <small>メートル</small>
	5		<small>メートル</small>	<small>メートル</small>
ヘ 排水施設	番号	構造	内法寸法	延長
	1	地下水排除工	5.0 <small>センチメートル</small>	10.00 <small>メートル</small>
	2	盛土内排水層	5.5 <small>センチメートル</small>	20.00 <small>メートル</small>
	3		<small>センチメートル</small>	<small>メートル</small>
	4		<small>センチメートル</small>	<small>メートル</small>
	5		<small>センチメートル</small>	<small>メートル</small>
ト 崖面の保護の方法		吹付工		
チ 崖面以外の地表面の保護の方法		As舗装、のり面保護法(植栽工、芝張り)		
リ 工事中の危害防止のための措置		立入防止策、交通誘導員、仮設調整池		
ヌ その他の措置		特になし		
ル 工事着手予定年月日		令和8年5月1日		
ロ 工事完了予定年月日		令和9年1月20日		
ワ 工程の概要		別紙「工程表」のとおり		
11	その他必要な事項	農地法に基づく農地転用申請中(R8.4取得見込み)		
12	変更の理由	地盤調査の結果、地耐力が不足するため、擁壁の設計を変更するもの		
13	許可番号	第 R7-0 号		
※受付欄		※決裁欄		※許可に当たって付した条件
年 月 日				※許可番号欄
第 R - 号				年 月 日
係員氏名				第 R - 号
				係員氏名

〔注意〕

- ※印のある欄は記入しないでください。
- 申請者、1 欄の工事主、2 欄の設計者又は 3 欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 1 欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。
- 2 欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。
- 3 欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。
- 4 欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- 8 欄は、該当する盛土タイプに○印を付してください（複数選択可）。
- 9 欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。
- 11 欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続きの状況を記入してください。
- 10 欄に収まらない場合は別紙（任意様式）に記載してください。

盛土規制法に基づく許可申請の記載要領（宅地造成又は特定盛土等）

✓ 宅地造成又は特定盛土等に関する変更許可申請書（様式第七）の申請にあたっては、福岡市の「許可申請等の手引き」及び以下の記載要領に従って書類を作成してください

✓ エクセルで作成する場合には以下の点に注意してください

注1) 着色箇所のみ入力してください

黄色セル	入力必須箇所
緑色セル	任意入力箇所

注2) 欄に収まらない場合は別紙（任意様式）を提出してください（擁壁等は別シートを活用ください）

注3) 提出の際に「確認列（C列）」が全てOKになっていることを確認してください

✓ **変更箇所は朱書きすること**

✓ 窓口で紙の申請書を提出した後、以下のファイル名でこのエクセル様式を開発・盛土指導課のメールアドレスに送信してください

【ファイル名】 (盛土許可申請) ●●区●●丁目 (申請者名) .xlsx

【送信先】 kaihatsu-zumen@city.fukuoka.lg.jp

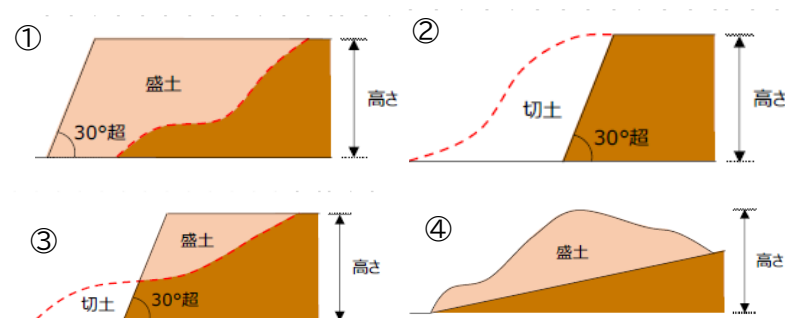
【メールタイトル】 (盛土許可申請) ●●区●●丁目 (申請者名)

列	項目		記載要領	必須												
A	担当者	会社名 氏名 電話番号	✓申請に関する担当者を記載してください。 ・処理が完了した際に担当者に連絡します。 ・内容、図面等について、確認、修正を求めることがあります。	○												
B	申請の区分		✓該当する申請区分の前に「○」印を記載してください。 ・宅地造成等工事規制区域の場合は、「第12条第1項」 ・特定盛土等規制区域の場合は、「第30条第1項」	○												
C	申請日		✓申請日（申請書の提出日）を記載してください。	○												
D	申請者		✓申請者は「1 工事主 氏名」と一致させる必要があります。 ✓申請者が法人の場合は、代表者氏名をあわせて記載してください。 ✓連名申請の場合は、2行目、3行目に記載してください。	○												
E	1 工事主	住所 氏名	✓工事主は、「請負契約の注文者（工事発注者、施主等）」 又は「請負契約によらないで自らその工事をする者」となります。 ✓工事主が法人の場合は、本店の住所、法人の名称、代表者氏名を 記入してください。 ✓代理人を設ける場合、上記代理人として支配人（支店）の住所、 支配人名（法人支店及び支店長名）を「住所2/氏名2」に記入 してください。 ✓連名申請の場合は、「住所2/氏名2」、「住所3/氏名3」に記載 してください（以下の記載例のとおり）。	○												
			<table border="1"> <tr> <td>住所1</td> <td>福岡市中央区開発町一丁目●番●号</td> </tr> <tr> <td>氏名1</td> <td>株式会社 ●●開発 代表取締役 開発 一郎</td> </tr> <tr> <td>住所2</td> <td>福岡市中央区開発町二丁目●番●号</td> </tr> <tr> <td>氏名2</td> <td>株式会社 ●●造成 代表取締役 造成 次郎</td> </tr> <tr> <td>住所3</td> <td>福岡市中央区開発町三丁目●番●号</td> </tr> <tr> <td>氏名3</td> <td>株式会社 ●●盛土 代表取締役 盛土 三郎</td> </tr> </table>	住所1	福岡市中央区開発町一丁目●番●号	氏名1	株式会社 ●●開発 代表取締役 開発 一郎	住所2	福岡市中央区開発町二丁目●番●号	氏名2	株式会社 ●●造成 代表取締役 造成 次郎	住所3	福岡市中央区開発町三丁目●番●号	氏名3	株式会社 ●●盛土 代表取締役 盛土 三郎	
住所1	福岡市中央区開発町一丁目●番●号															
氏名1	株式会社 ●●開発 代表取締役 開発 一郎															
住所2	福岡市中央区開発町二丁目●番●号															
氏名2	株式会社 ●●造成 代表取締役 造成 次郎															
住所3	福岡市中央区開発町三丁目●番●号															
氏名3	株式会社 ●●盛土 代表取締役 盛土 三郎															
F	(法人役員)	住所 氏名	✓工事主が法人の場合は、法人役員（代表者1名）の住所、氏名を記載してください。	法人のみ												

盛土規制法に基づく許可申請の記載要領（宅地造成又は特定盛土等）

G	2 設計者	住所 氏名	<p>✓資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に「○」印を記載してください。</p> <p>※ 資格を有する者の設計によらなければならない工事とは、以下の①、②です。</p> <p>① 高さが5 mを超える擁壁の設置</p> <p>② 盛土、切土をする土地の面積が1,500㎡を超える土地における排水施設の設置</p> <p>※ 必要な資格については、手引きの「7 設計者の資格（2）設計者の資格」を参照してください。</p>	○				
H	3 工事 施行者	住所 氏名	<p>✓工事施行者は「工事の請負人」又は「請負契約によらないで自らその工事をする者」となります。</p> <p>✓工事施行者が未定の場合は氏名の欄に「未定」と記載（住所の欄は「空白」）し、工事の着手までに工事施行者の能力確認書類を添付して、変更許可申請を行ってください。</p>	○				
I	4 土地の所在地 及び地番		<p>✓申請地内の土地について、地番を記入してください。</p> <p>※住居表示ではありません。</p> <p>✓複数の地番がある場合は省略せず、すべてを記載してください。</p> <p>✓工区を分ける場合には、以下のように行を分けて、所在地の前に「（●工区）」と記載してください。 （3工区以降も2行目に記載してください）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>（1工区）福岡市中央区天神●丁目000番1から2及び5</p> <p>（2工区）福岡市中央区天神●丁目999番10</p> </div>	○				
J	（代表地点の 緯度経度）		<p>✓申請地の中心付近の緯度経度（世界測地系）を、「度分秒」法[※]で記載してください（小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記載）。</p> <p>※「10進法」ではありません。</p> <p>✓Googleマップで座標を取得した場合など、「10進法」で座標を取得した場合は、別添シート「緯度・経度変換」で「度分秒」に変換してください。</p> <p>✓申請書欄外の「Googleマップで位置を確認」で座標を確認することができます。</p>	○				
K	5 土地の面積		<p>✓「4 土地の所在地及び地番」に該当する土地の面積（原則として実測面積）を記載してください（許可申請に係る土地の総面積であり、盛土や切土を行わない部分も含まれます）。</p> <p>✓工区を分ける場合には、以下のように2行目に工区別の面積を記載してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 20px;">5,000.00</td> <td>平方メートル</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding-top: 5px;">（1工区）2,300.00、（2工区）2,700.00</td> <td>平方メートル</td> </tr> </table> </div>	5,000.00	平方メートル	（1工区）2,300.00、（2工区）2,700.00	平方メートル	○
5,000.00	平方メートル							
（1工区）2,300.00、（2工区）2,700.00	平方メートル							
L	6 工事着手前の 土地利用状況		<p>✓工事着手前及び工事完了後の土地利用を選択してください。</p> <p>✓括弧に詳細を記載してください。</p>	○				
M	7 工事完了後の 土地利用			○				

盛土規制法に基づく許可申請の記載要領（宅地造成又は特定盛土等）

N 8	盛土のタイプ	<p>✓ 該当する盛土タイプの前に「○」印を記載してください。 （複数選択可）</p> <p>※ 盛土のタイプは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平地盛土：勾配1/10以下の平坦地で行われる盛土で、谷埋め盛土に該当しないもの ・腹付け盛土：勾配1/10超の傾斜地盤上で行われる盛土で、谷埋め盛土に該当しないもの ・谷埋め盛土：谷や沢を埋め立てて行う盛土 ・切土：切土 <p>※ 勾配1/10以下の範囲の参考は市HPで公開しています。</p>	○
0 9	土地の地形	<p>✓ 「溪流等への該当」について「有」、「無」の前に「○」印を記載してください（どちらかに「○」印を記載してください）。</p> <p>※ 溪流等：次の①及び②の範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 溪床勾配10度以上の勾配を呈し、0次谷を含む一連の谷地形の底部の中心線（上端は谷地形の最上部まで含む） ② ①からの距離が25m以内の範囲 <p>※ 溪流等の範囲の参考は市HPで公開しています。</p>	○
P 10イ	盛土又は切土の高さ	<p>✓ 盛土、切土の高さについて、①～④の最大値をそれぞれを記載してください（該当のない欄は空欄で構いません）。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 盛土だけを行った場合の崖の高さ ② 切土だけを行った場合の崖の高さ ③ 盛土と切土を同時に行った場合の崖の高さ ④ 崖を生じない盛土の高さ <p>※ 崖：地表面が水平面に対し30度を超える角度をなす土地（硬岩盤を除く）</p>  <p>✓ 各高さは、工事の断面図で確認できるようにしてしてください。</p>	○
Q 10ロ	盛土又は切土をする土地の面積	<p>✓ 標高差30cm以下の部分の面積を含む、「盛土、切土を行う全ての面積」を記載してください。</p> <p>✓ 面積が500m²を超える場合（特定盛土等規制区域のときは、1,000m²を超える場合）には、2行目に標高差30cmを超える部分の面積を記載してください。</p>	○
R 10ハ	盛土又は切土の土量	<p>✓ 盛土、切土のそれぞれの土量を記載してください。</p>	○

盛土規制法に基づく許可申請の記載要領（宅地造成又は特定盛土等）

S	10ニ 擁壁	<p>✓擁壁がある場合に、高さの大きい順に記載してください。</p> <p>✓擁壁が8以上の場合は、以下のとおり、最も高さの大きい擁壁を番号1に記載した上で、その他の擁壁数を「構造」欄に「外●」と記載し、別紙を提出してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>構造</th> <th>高さ</th> <th>延長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>RC造 L型擁壁 外10</td> <td>6.00</td> <td>10.00</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	構造	高さ	延長	1	RC造 L型擁壁 外10	6.00	10.00	2				3				4				5				6				7				8				
番号	構造	高さ	延長																																				
1	RC造 L型擁壁 外10	6.00	10.00																																				
2																																							
3																																							
4																																							
5																																							
6																																							
7																																							
8																																							
T	10ホ 崖面崩壊防止施設	<p>✓崖面崩壊防止施設がある場合に、高さの大きい順に記載してください。</p> <p>✓崖面崩壊防止施設が5以上の場合は、最も高さの大きい壁面崩壊防止施設を番号1に記載した上で、その他の壁面崩壊防止施設数を「構造」欄に「外●」と記載し、別紙を提出してください。</p>	ある場合																																				
U	10ヘ 排水施設	<p>✓排水施設がある場合に、内径寸法の大きい順に記載してください。</p> <p>✓排水施設が5以上の場合は、最も内径寸法の大きい排水施設を番号1に記載した上で、その他の排水施設数を「構造」欄に「外●」と記載し、別紙を提出してください。</p>																																					
V	10ト 崖面の保護の方法	<p>✓擁壁、崖面崩壊防止施設以外の崖面の保護がある場合に方法を記載してください。</p> <p>※ 原則、崖面は擁壁、崖面崩壊防止施設で覆う必要があります。</p>																																					
W	10チ 崖面以外の地表面の保護の方法	<p>✓崖面以外の地表面（30°以下の勾配の地表面）がある場合には、記載してください。</p> <p>※30°以下の勾配の地表面は、地表面の保護が必要です。</p>																																					
X	10リ 工事中の危険防止のための措置	<p>✓工事中の危険防止のための措置がある場合に記載してください。（交通誘導員、立入防止柵、調整池など工事中の一時的な措置）</p>																																					
Y	10ヌ その他の措置	<p>✓その他措置がある場合に記載してください。</p>																																					
Z	10ル 工事着手予定年月日	<p>✓工事着手予定年月日を記載してください。</p>		○																																			
AA	10ヲ 工事完了予定年月日	<p>✓工事完了予定年月日を記載してください。</p> <p>※許可期間の終期になります。</p>	○																																				
AB	10ワ 工程の概要	<p>✓別紙で工程表を提出してください（任意様式）。</p>	—																																				
AC	11 その他必要な事項	<p>✓他法令の許可等（森林法、農地法、その他条例等）を要する場合、手続きの状況、取得時期（見込み含む）を記載してください。</p>	ある場合																																				
AD	12 変更の理由	<p>✓変更の理由を簡潔に記載してください。</p>	○																																				
AE	13 許可番号	<p>✓最新の許可番号を入力してください。</p>	○																																				

添付書類一覧

	提出図書	必須	作成要領	備考	図面の縮尺
1	①宅地造成及び特定盛土等に関する工事の許可申請書(様式第二) ②本店の委任状 ※支配人登記していない支店による申請の場合	○	①宅地造成及び特定盛土等に関する工事の許可申請書(様式第二) ・別シート「記載要領」とおり ②本店の委任状(支配人登記していない支店による申請の場合) ・支配人登記していない支店による代理申請の場合、本店の委任状を添付。		
2	工事主の証明書類 <個人の場合> ①住民票の写し(原本)、個人番号カードの写し、個人の印鑑証明書(原本)、運転免許証の写し又はこれらに類するもので、氏名及び住所を証する書類 <法人の場合> ①工事主の登記事項証明書(原本又は照会番号付きのもの) ②工事主の印鑑証明書(原本) ③役員の住民票の写し(原本)、個人番号カードの写し、個人の印鑑証明書(原本)、運転免許証の写し又はこれらに類するもので、氏名及び住所を証する書類	○	<個人の場合> ・個人番号カードの写しを提出する場合には、個人番号は黒塗りしてください。 <法人の場合> ・法人の場合には、本店の登記事項証明書及び印鑑証明書を提出してください。 ・法人の場合に、住民票等の提出を求める役員の範囲は、株式会社における会社法上の役員のうち取締役など、許可対象工事に関する事業について決定権を持つ者です。 ・個人番号カードの写しを提出する場合には、個人番号は黒塗りしてください。		
3	工事主の資力・信用確認書類 ①資金計画書(省令様式第3又は第5) ②納税証明書(その1(直前3年分)又はその3)(原本) ③残高証明又は融資証明(原本) ④暴力団員等に該当しないことの誓約書(市要綱様式第6号) ⑤事業経歴書(市要綱様式第5号) ※法人の場合のみ	○	① 資金計画書 ・指定の様式(省令様式第3)に「収支計画」及び「年度別資金計画書」を記載してください。 ② 納税証明書 ・法人の場合は、本店の最近3年の各事業年度における法人税(国税)に係る納税証明書(その1(直前3年分)又はその3) ・個人の場合は、最近3年の所得税(国税)に係る納税証明書(その1(直前3年分)又はその3) ③ 残高証明又は融資証明 ・有効期限内又は3か月以内に取得したものに限りです。 ④ 暴力団員等に該当しないことの誓約書 ・指定の様式(市要綱様式第6号)に関係する役員について記載してください。 ⑤ 事業経歴書(法人の場合のみ) ・指定の様式(市要綱様式第5号)に本店の盛土等に関する事業の履歴を記載してください。		
4	設計者の資格証明書類 ※資格を有する必要がある場合のみ ①設計者の資格調査(市要綱様式第8号) ②資格を有することを証する書類(卒業証明書(原本)、実務経歴証明書(原本)、資格・免許等の写し)	○	② 資格を有することを証する書類 ・資格を有する者の設計によらなければならない工事を含む場合、適合する証明書類を提出してください。 (設計者の資格については手引きの「7 設計者の資格(2) 設計者の資格」を参照)		
5	工事施行者の能力確認書類 ①工事施行者の工事経歴書(市要綱様式第7号) ②工事施工者の登記事項証明書(原本又は照会番号付きのもの) ③建設業の許可証明書	○	① 工事経歴書 ・指定の様式(市要綱様式第7号)に工事施行者の盛土等に関する履歴を記載してください。 ③ 建設業の許可証明書 ・当該工事に必要な業種の証明書を提出してください(土木工事業、建築工事業等)		
6	土地の権利者の同意を得たことを証する書類 ①権利者の施行同意届出書(市要綱様式第9号) ②同意者本人であることを確認するための書類 <個人の場合> ・個人番号カード、運転免許証の写し、印鑑証明書等のうちいずれか <法人の場合> ・法人の印鑑証明書	△	① 権利者の施行同意届出書 ・同意の要件については、次のア及びイの全ての権利者の同意が必要です。 (ただし、権利者が申請者本人である場合には同意は不要です。) ア 土地の所有権、地上権、質権(当該土地を占有する不動産質権者に限る)、賃借権、使用貸借権を有する者 イアのほか、使用収益権(永小作権、地役権(内容に応じて同意が必要か判断)等)を有する者 ・抵当権、根抵当権、先取特権等の担保物権(当該土地を占有する不動産質権者を除く)については、ただちに土地の使用収益に支障のある権利ではないため、同意の対象とはなりません。 ・建築物又は工作物のみに係る権利者(賃貸住宅の賃借人等)の同意は不要です。 ・土地所有者が公共機関である場合は、「申請者が土地の貸付け等に関する協議を開始している旨の当該公共機関の交付する証明」をもって、同意が得られているものとします。この場合、許可後に貸付け等に係る契約締結の書類の写しを提出してください。 ② 同意者本人であることを確認するための書類 ・個人番号カードの写しを提出する場合には、個人番号は黒塗りしてください。		
7	土地の登記事項証明書	○	・当該申請地内の土地の登記事項証明書を提出してください。		

添付書類一覧

	提出図書	必須	作成要領	備考	図面の縮尺
8	字図	○	<ul style="list-style-type: none"> 申請地及びその周辺の町名と地番、道路(里道)、水路が表示された法務局備え付けのものに、申請地の境界を朱書きで示したものを添付してください。 申請地及びその周辺の所有者、地目を記入し、転写者の記名をしてください。 		
9	他の法令等に関する許可等の写し	△	<ul style="list-style-type: none"> 盛土等の工事に関し、他の法令等に基づき許可等を必要とする場合は、その写しを添付してください。 手続き中のものについては、その状況を示す書面を提出してください。 		
10	現況写真	○	<ul style="list-style-type: none"> 対象区域の全景 各隣接地との境界の遠景 敷地内で特に高低差が大きい箇所 隣接する道路、河川、水路の遠景 撮影方向を記載した土地の平面図 	<ul style="list-style-type: none"> 鮮明な写真とすること 対象区域が広大な場合は、様々な位置から写真を撮ること 写真及び土地の平面図の撮影方向に共通の番号を付すこと 周辺状況(前面道路、隣接地建物等)がわかるように撮ること 	
設計図書 ※設計図書には、設計者の記名をしてください。					
11	位置図	○	<ul style="list-style-type: none"> 方位 道路及び目標となる地物 		1/10,000 以上
12	地形図	○	<ul style="list-style-type: none"> 方位 土地の境界線 	<ul style="list-style-type: none"> 等高線は2mの標高差を示すものとする 	1/2,500 以上
13	盛土等の求積図	○	<ul style="list-style-type: none"> 土地の面積 盛土・切土をする土地の部分の面積 		
14	土地の平面図	○	<ul style="list-style-type: none"> 方位 土地の境界線 盛土・切土をする土地の部分 崖 擁壁 崖面崩壊防止施設 排水施設 地滑り防止ぐい又はグラウンドアンカーその他の土留めの位置 地盤高(隣接地、道路等を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> 断面図を作成した箇所に断面図と照合できるように記号を付すこと 植栽、芝張り等の措置を行う必要がない場合は、その旨を付すこと 擁壁、崖面崩壊防止施設及び排水施設は、申請書と照合できるように番号を付すこと 	1/2,500 以上
15	土地の断面図	○	<ul style="list-style-type: none"> 盛土または切土をする前後の地盤面(隣接地、道路等を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> 高低差の著しい箇所について作成すること 	
16	排水施設の平面図	△	<ul style="list-style-type: none"> 排水施設の位置、規模、材料、形状、内法寸法、勾配 水の流れの方向 吐口の位置 放流先の名称 		1/500 以上
17	排水施設の構造図	△	<ul style="list-style-type: none"> 排水施設の記号 開渠、暗渠、会所、吐口等 放流先の断面水位(高水位、低水位)及び吐口の高さ 		1/50 以上
18	崖の断面図	△	<ul style="list-style-type: none"> 崖の高さ、勾配 土質(土質の種類が2以上の場合、それぞれの土質及び地層の厚さ) 盛土又は切土をする前の地盤面 崖面の保護の方法 	<ul style="list-style-type: none"> 擁壁で覆われる崖面については、土質に関する事項は示すことを要しない 	1/50 以上

添付書類一覧

	提出図書	必須	作成要領	備考	図面の縮尺
19	擁壁の断面図	△	<ul style="list-style-type: none"> ・擁壁の寸法、勾配 ・擁壁の材料の種類、寸法 ・裏込めコンクリートの寸法 ・透水路の位置、寸法 ・擁壁を設置する前後の地盤面 ・基礎地盤の土質 ・基礎ぐいの位置、材料、寸法 		1/50 以上
20	擁壁の背面図	△	<ul style="list-style-type: none"> ・擁壁の高さ ・水抜き穴の位置、材料、内径 ・透水路の位置、寸法 		1/50 以上
21	崖面崩壊防止施設の断面図	△	<ul style="list-style-type: none"> ・崖面崩壊防止施設の寸法、勾配 ・崖面崩壊防止施設の材料、種類、寸法 ・崖面崩壊防止施設を設置する前後の地盤面 ・基礎地盤の土質 ・透水路の位置、寸法 		1/50 以上
22	崖面崩壊防止施設の背面図	△	<ul style="list-style-type: none"> ・崖面崩壊防止施設の寸法 ・水抜き穴の位置、材料、内径 ・透水路の位置、寸法 	<ul style="list-style-type: none"> ・水抜き穴及び透水路に係る事項については、必要に応じて記載すること 	1/50 以上
23	防災計画平面図	○	<ul style="list-style-type: none"> ・方位 ・土地の境界線 ・防災措置の名称、位置、種類、形状、寸法等 ・防災措置の設置時期及び期間 	<ul style="list-style-type: none"> ・相当範囲の外周区域を包括したものであること。 	1/500 以上
24	構造計算書	△	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造又は無筋コンクリート造の擁壁を設置するときは、擁壁の概要、構造計画、応力算定及び断面算定を記載した構造計算書を提出してください。 		
25	安定計算書	△	<ul style="list-style-type: none"> ・溪流等において高さが15mを超える盛土をするときは、土質試験その他の調査又は試験に基づく地盤の安定計算を記載した安定計算書を添付してください。 ・令第8条第1項第1号ロの規定により崖面を擁壁で覆わないときは、土質試験その他の調査又は試験に基づく地盤の安定計算を記載した安定計算書を添付してください。 		
26	工程表	○	<ul style="list-style-type: none"> ・様式について特段の定めはありませんので、任意の様式で作成してください。 		
29	その他市長が必要と認める書類	△			

(擁壁等別紙)

工事主

土地の所在地及び地番

擁壁

番号	構造	高さ	延長
1		メートル	メートル
2		メートル	メートル
3		メートル	メートル
4		メートル	メートル
5		メートル	メートル
6		メートル	メートル
7		メートル	メートル
8		メートル	メートル
9		メートル	メートル
10		メートル	メートル
11		メートル	メートル
12		メートル	メートル
13		メートル	メートル
14		メートル	メートル
15		メートル	メートル

崖面崩壊防止施設

番号	構造	高さ	延長
1		メートル	メートル
2		メートル	メートル
3		メートル	メートル
4		メートル	メートル
5		メートル	メートル
6		メートル	メートル
7		メートル	メートル
8		メートル	メートル
9		メートル	メートル
10		メートル	メートル

排水施設

番号	構造	内径寸法	延長
1		センチ メートル	メートル
2		センチ メートル	メートル
3		センチ メートル	メートル
4		センチ メートル	メートル
5		センチ メートル	メートル
6		センチ メートル	メートル
7		センチ メートル	メートル
8		センチ メートル	メートル
9		センチ メートル	メートル
10		センチ メートル	メートル